

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【公開番号】特開 2017-78163 (P2017-78163A)

【公開日】平成 29 年 4 月 27 日 (2017.4.27)

【年通号数】公開・登録公報 2017-017

【出願番号】特願 2016-191948 (P2016-191948)

【国際特許分類】

C 0 9 K 5/06 (2006.01)

F 2 5 D 3/00 (2006.01)

F 2 8 D 20/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 5/06 J

C 0 9 K 5/06 A

C 0 9 K 5/06 Z

F 2 5 D 3/00 Z

F 2 8 D 20/02 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 22 日 (2019.5.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水、

結晶性粉末、および

少なくとも 1 種の無機塩

を含み、

前記結晶性粉末は、1, 3 - ジエチル尿素であり、

前記 1, 3 - ジエチル尿素は、3 重量 % 以上 20 重量 % 以下の濃度を有し、

前記潜熱蓄冷材は、マイナス 29.5 度以上の凝固開始温度を有する、

潜熱蓄冷材。

【請求項 2】

前記 1, 3 - ジエチル尿素は、3.72 重量 % 以上の濃度を有する、

請求項 1 に記載の潜熱蓄冷材。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 種の無機塩が、塩化ナトリウムを含む、

請求項 1 に記載の潜熱蓄冷材。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 種の無機塩が、塩化カリウムを含む、

請求項 1 に記載の潜熱蓄冷材。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 種の無機塩が、塩化ナトリウムおよび塩化アンモニウムである、

請求項 1 に記載の潜熱蓄冷材。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 種の無機塩が、塩化カリウムおよび塩化アンモニウムである、

請求項 1 に記載の潜熱蓄冷材。

【請求項 7】

水、

結晶性粉末、および

少なくとも 1 種の無機塩

を含み、

前記結晶性粉末は、1, 3 - ジブチル尿素であり、

前記潜熱蓄冷材は、マイナス 29.5 度以上の凝固開始温度を有する、
潜熱蓄冷材。

【請求項 8】

前記 1, 3 - ジブチル尿素は、0.086 重量%以上 5.7 重量%以下の濃度を有する

請求項 7 に記載の潜熱蓄熱材。

【請求項 9】

前記少なくとも 1 種の無機塩が、塩化ナトリウムを含む、
請求項 7 に記載の潜熱蓄冷材。

【請求項 10】

前記少なくとも 1 種の無機塩が、塩化カリウムを含む、
請求項 7 に記載の潜熱蓄冷材。

【請求項 11】

前記少なくとも 1 種の無機塩が、塩化ナトリウムおよび塩化アンモニウムである、
請求項 7 に記載の潜熱蓄冷材。

【請求項 12】

前記少なくとも 1 種の無機塩が、塩化カリウムおよび塩化アンモニウムである、
請求項 7 に記載の潜熱蓄冷材。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

結晶性粉末として 1, 3 - ジエチル尿素が含まれる場合、その含有量（総量）は、潜熱蓄冷材全体に対して、3 wt % 以上 20 wt % 以下が望ましく、3 wt % 以上 15 wt % 以下がより望ましく、3 wt % 以上 10 wt % 以下がさらに望ましい。